



ひがしひろしま 3

No.599

特集

まちの



魅カ・活カ



アップ!



魅力・活カアップで

住みたい 住み続けたい まちへ

全国的な課題である人口減少による地域の衰退。東広島市の人口は全体で見ると増加していますが、急激に減少している地域もあります。目指すは、子どもたちが大人になった時にも「住みたい」「住み続けたい」と思える地域。各地域の文化・伝統・自然などを生かしてまちの魅力・活力を向上させることで、一人一人がwell-being(幸福感)を実感でき、持続可能な地域を実現することにつながります。

☎ 地域政策課 ☎ (082) 420-0401

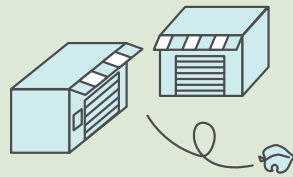
人口が減少すると、どうなるの？

河上さん
ファミリー



住む人が減ると…

近所の店舗が閉店し
買い物などが不便になる



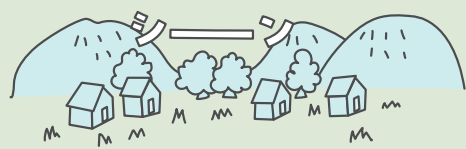
仕事をする場が
なくなる



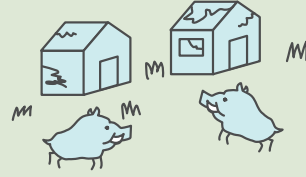
バスなどの利用者が減り
公共交通が維持できなくなる



イベント、祭りを行う人が
いなくなり、地域の活力が低下



空き家・耕作放棄地が増加し
有害鳥獣が増える



住民組織の担い手不足
(自治会、消防団など)



生活利便性の
低下



地域コミュニティの
機能低下



さらなる人口減少

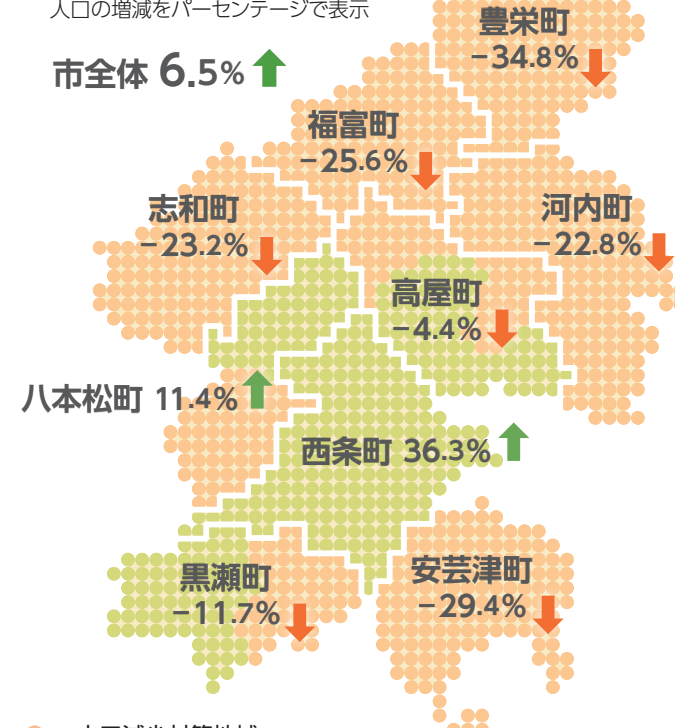
人口減少の悪循環

東広島市の現状と今後の方向性は？

人口減少対策地域と人口の増減

※合併時(平成17年)の人口を0.0として、令和5年3月末の地域ごとの人口の増減をパーセンテージで表示

市全体 6.5% ↑



…人口減少対策地域

全域が対象/志和町、福富町、豊栄町、河内町、安芸津町
一部地域が対象/八本松町南部、高屋町北部、黒瀬町東部

人口減少地域総合対策のポイント

- 地域の特性を活かしたまちづくり
- 地域内での経済循環
- 地域コミュニティの活性化

まちの魅力・活カアップ

「住みたい」「住み続けたい」
という人が増える



地域の取り組みを見てみよう!

新しいアイデアを生かす

豊栄 「泊まる」「食べる」「遊ぶ」を楽しむまちへ

地域に点在する空き家をホテルに変え、宿泊客に町内の食材や体験を楽しんでもらう「地域分散型ホテル」の仕組みづくりが進められています。

取り組むのは地元の人や移住してきた人で構成する合同

会社CONTACT(コンタクト)。持続可能な活動にするためビジネス化し、働く場の創出も目標にしています。

賀茂北高校とも連携。将来的には、整備した空き家で下宿生を受け入れることも視野に入れていきます。

1次産業を継続させて、農村風景を守りたい!

CONTACT
沖 正文さん

地域の多くの人に関わってもらえるよう、計画や思いをしっかりと伝えていきます!

CONTACT 代表
中間 崇之さん

地域コミュニティの強化

安芸津 横のつながりができ 広がるアイデア

西日本豪雨災害で被災したまちににぎわいを創出しようと、地域の人などで行っている「あきつマーケット」。町内外の出店者や来場者が集まり、新たな交流からアイデアが生まれ、ビジネスの発展や地域コミュニティの強化につながっています。

子どもたちにもふるさとに誇りを持って生きてほしい。ふるさとの活力を知ることが力になるはず!

あきつマーケット実行委員長
本田 縁さん

第11回 あきつマーケット

日 5月26日(日)
時 10:00~16:00
場 安芸津駅前周辺
※前夜祭「潮の音コンサート」
25日(土) 17:30~20:30、
あきつ万葉ホール
(安芸津生涯学習センター)

アクションを起こすと応えてくれる人がたくさん!

実行委員会
村上 由貴さん

開発した商品のお披露目の場。安芸津は夢を実現できるまちだと感じています

甲斐農園
甲斐 直樹さん

マーケットでつながった人との雑談から新商品が生まれました

大浦鮮魚店
大浦 充弘さん

安芸津の鯛など地元産品を使った弁当

セントラルマルシェの運営に参加
賀茂北高校 2年生
生徒会長 高光 侑生さん(中央)
副会長 天野 海飛さん(左)
副会長 平松 隼兜さん(右)

将来も元気で楽しいまちであってほしい!

町内に魅力ある人や商品が存在していることを知りました

1棟目のホテルとして活用を計画している古民家「タカオキ邸」

地域の持続へ向けたアイデアをどんどん具体化させていきます

CONTACT
清水 早苗さん

第15回 セントラルマルシェ

日 4月21日(日)
時 10:00~16:00
場 トムミルクファーム
内 地元食材を使った料理や雑貨の販売、ワークショップなど

住民の特長を生かす

志和 買ったり売ったり やりがいを実感

小学校が閉校した志和堀地区の新たなにぎわい創出として始まった「志和堀 堀でえ産直市」。地域の人々が作った野菜や加工品、手作り品など、住民発案の身近な商品が並びます。無料のカフェコーナーは、世代を超えた交流の場に。

志和堀 堀でえ産直市

日 3月17日(日)※毎月第3日曜日
時 10:00~11:30
場 志和堀地域センター

普段見かけない物が並ぶこともあり、毎回、買い物を楽しみにしています

沖本 美智代さん

油絵歴 30年。産直市をきっかけに商品作りを始めました

石田 雅子さん

出品者もお客さんもイキイキとしている様子を見て、私もイキイキ!

産直市リーダー
中西 育江さん

次は何の野菜を出そうかなと考えることが楽しく、頑張る力に

穴戸 浜子さん

産直市を機に作成したシール

青年会は焼きいも販売をスタート

今度はどこに行こうかなあ!

どのまちも魅力がたくさん!

★人口減少地域での活動を支援します

移住して創業したい

定住サポートセンター
☎(082)422-1033

農業を始めたい

園芸センター
☎(082)433-4411

空き家を購入してリフォームしたい

住宅課
☎(082)420-0946

♪ラジオで詳しく

FM東広島 (89.7MHz)
3月の毎週水曜日 18時台
「深掘り!ひがしひろしま」
スマートフォンでも聞けます

